

江津更生保護

第 67 回
社会を明るくする運動
特 集 号

発 行 者
浜田地区保護司会
江 津 分 区



「いあこおし」

江津市長 山下 修

浜田地区保護司会江津分区の更生保護関係者の皆様におかれましては、平素より犯罪予防活動及び保護観察対象者の更生に格別のご尽力、ご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

最近の県内の犯罪情勢をみますと、昨年の犯罪発生件数

はピークであった平成15年の3分の1程度までに減少し、昨年の非行少年の補導件数も統計を取り始めてから過去最少となっているなか、全国的に再犯者等の比率が高いなど、再犯防止対策が大きな課題となっています。

私も行政に携わる者も、

このような社会情勢を十分認識し、市民の安全、安心を守るため、「社会を明るくする運動」や「青少年健全育成」等、様々な活動に取り組んでいきます。こうした活動が長年にわたって継続できるのも、保護司の皆様への献身的な協力があったことで、これからは皆様のご協力を賜りながら明るい社会を守ってまいります。

保護司の皆様は、日頃から「共助のこころ」「奉仕の気持

ち」によって日々活動をされ、その活動は犯罪や非行の大きな歯止めとなっております。地域のためにはなくてはならない活動です。こうした地道な努力の積み重ねが大きな力になると確信しております。

むすびに、安心で安全な社会の実現にご尽力いただいている保護司の皆様を重ねてお礼を申し上げますとともに、今後ともご協力をお願いし、挨拶といたします。



「もどらない・もどさない」

浜田地区保護司会
江津分区区分長 益子原 民生

「もどらない・もどさない」のスローガンのもとに、七月は、社会を明るくする運動強化月間、再発防止月間です。今、国は再犯防止推進計画を策定しています。その中で課題となっているのが、再就職をどう進めていくかが求められています。この五月三十一日法務省でこの会議が行われました。昨年十二月に国会で再犯防止推進法が成立し、犯罪を起こした人の社会

復帰に向けた具体的な取り組みを「計画」としてまとめ、作業を進め、再犯防止推進計画の検討会が行われました。刑法犯として逮捕された人の数は一昨年、一年間でおよそ二十四万人、その内四十八%が再犯者で、二人に一人が事件を繰り返している事が報告されました。全体の検挙数は減少が続いているものの、再犯者の割合は年々増加傾向にあります。高齢者も

含まれている事もあります。理由の一つとして仕事をみつけられないことです。この事からも再犯者は求人倍率の向上とか、好景気とかの恩恵を受けることが出来ないことがわかります。しかしながら、生活の基盤をつくる事が最重要課題です。再出発の支援には行政を含め企業の協力なくしては出来ません。再チャレンジしようとしている人達がいることを理解し、社会に復帰してもらう事が大事です。犯罪等を犯すことなく、その自立・改善・更生を確かなものにする上で職に就き、責

任ある社会生活を営むことが重要であり、雇用について理解ある協力雇用主の果たす役割は非常に大きいものがあります。それが治安の安定に繋がります。それが治安の安定に繋がります。それが治安の安定に繋がります。それが治安の安定に繋がります。



もどらない・もどさない。

7月は「社会を明るくする運動」強化月間、再犯防止強化月間です。

平成二十九年度

浜田地区保護司会江津分区総会を開催

原案通り承認される

浜田地区保護司会江津分区は平成二十九年度江津分区総会を四月十四日(金)、会館「吾妻」において開催しました。

当日は保護司が二十名全員出席し(委任状提出者三名)、来賓として山下修江津市長、早水賢三江津警察署長、黒川聰江津市社会福祉協議会会長、花田幸仁江津市社会福祉課長、山脇里美江津市更生保護女性会会長、山本洋律子江津警察署少年補導職員の六名を来賓に迎え総会議案が審議されました。

議案の平成二十八年度事業報告並びに平成二十八年度収支決算書については原案通り承認されました。

また、平成二十九年度事業計画ならびに収支予算については全会一致承認され、平成二十九年度の保護司会の各事業を積極的に実施することとなりました。

下記に概要を報告いたします。

【平成二十九年度事業計画】

一. 月別主要事業

- ・ 四月、五月……研修会・委員会・総会開催に向けて各種会議と活動
- ・ 六月……社明運動準備・標語、作文募集活動・広報誌編集、発行
- ・ 七月……推進委員会・社明運動の各事業実施・青少年健全育成活動
- ・ 八月……夏休みの健全育成活動・パトロール活動・ミニ集会開催
- ・ 九月……標語、作文審査会・研修会・県下保護司代表者会議
- ・ 十月……赤い羽根募金活動・標語作品表彰式・関係団体連携研修会
- ・ 十一月……島根県顕彰式典・石見地区保護司会議
- ・ 十二月……保護司辞令交付式・特別研修会
- ・ 一月……地区自主研修会・情報交換会
- ・ 二月……護司視察研修会・保護司候補者検討協議会
- ・ 三月……社会貢献活動・県下保護司代表者会議

二. 定例研修会開催

- ・ 第一期定例研修会 五月二十九日(月)「生活環境調整」
- ・ 第二期定例研修会 七月二十日(木)「遵守事項と良好、不良措置」
- ・ 第三期定例研修会 十一月二十八日(火)「被害者施策と恩赦制度」
- ・ 第四期定例研修会 二月十五日(木)「面接技法」

三. 江津市福祉事務所分室の活用促進

- ・ 対象者との面接場所として活用
- ・ 協力雇用主会の設立
- ・ 出所者や保護観察対象者等の社会復帰のために、就労支援と雇用確保に協力する事業所の組織化を図る。本年度七月設立予定。

四. 地区、分区事業の連携、支援

- ・ 地区、分区事業の連携、支援
- ・ 情報提供
- ・ 事務局機能強化

【平成二十九年度収支予算】

(単位：円)

【収入の部】

- 一. 保護司会費収入 六〇,〇〇〇
- 二. 保護司会収入 三五〇,〇〇〇
- 三. 補助金等収入 七三八,〇〇〇
- 四. 寄付金等収入 七三一
- 五. 繰越金 一七九,二六九
- 収入合計 一,三四六,〇〇〇

【支出の部】

- 一. 事務費 一八九,〇〇〇
- 二. 分担金 一三八,〇〇〇
- 三. 事業費 九〇〇,〇〇〇
- 四. 繰入金 八〇,〇〇〇
- 五. 予備費 三九,〇〇〇
- 支出合計 一,三四六,〇〇〇

【協力雇用主会員募集活動】

不幸にして犯罪や非行に陥った人々には、まず仕事に就くことが自己の生活安定と地域社会への適応が図られ、改善更生につながります。法務省ではこうした観点から、主旨をご理解いただいた企業を協力雇用主として予め登録する制度を取り入れております。江津分区では平成28年度事業として会員募集活動を行い、下記の企業からご理解をいただき会員にご加入いただきました。これを受けて、本年度は加入いただいた協力雇用主を組織として活動する協力雇用主会を設立することにしております。今後とも本趣旨にご賛同される企業には別途ご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。(連絡先 0855-25-5345 浜田地区保護司会)

- 平成28年度加入企業(加入順)
- ・ (株)原工務所・(有)石見浄化槽センター・江津石油(株)
 - ・ ロードテクノ・(株)永大整備工業・江津土建(株)
 - ・ (有)井上製作所・岩本ダイス工業(株)

(※四及び五は地区事業計画と連携)

平成28年度江津分区の活動

浜田地区保護司会江津分区では、「社会を明るくする運動」を中心に市内の小、中学校との連携事業や青少年健全育成活動などの様々な事業活動を行っております。

平成 28 年度の「第 66 回社会を明るくする運動」の活動を中心に概要を紹介いたします。

【1】「第 66 回社会を明るくする運動」江津市推進委員会の開催

○7月1日(金) 午後1時30分～2時30分

江津市総合市民センター2階会議室

第 66 回社会を明るくする運動と江津市青少年健全育成協議会総会が関係者 60 名の参加のもと、盆子原民生分区長から山下修江津市長へ安倍晋三内閣総理大臣からのメッセージが伝達され、第 66 回社会を明るくする運動がスタートしました。

【2】中学生を対象とした標語の募集

○募集期間 6月10日(金)から7月15日(金)

- ・ 1次審査会各中学校で審査
(各校 15 作品・計 60 作品)
- ・ 2次審査会……教育長及び関係課長による審査
- ・ 最終審査会……保護司会役員会……9月9日(金)
- ・ 審査結果……下記のとおり
- ・ 表彰式……10月4日(火) 午後4時～ 江津市役所



賞名	作 品	学校名	学年	氏 名
最優秀賞	消せないよ ネットに書き込む その言葉	江津中学校	2年	浅野美紗
優 秀 賞	広げよう みんなの笑顔と 友の輪を	桜江中学校	3年	井川彩花
	気づけてる? 君の近くの SOS	江津中学校	3年	原田 椋 介
	「助けて」と 言えないあの子に 声かけて	青陵中学校	1年	北村 緋 奈
	考えて いじめられてる 悲しみを	江東中学校	1年	山本 愛 莉
佳 作	支え合おう みんなが同じ 空の下	青陵中学校	3年	佐々木 恵莉花
	やめようよ いじめの連鎖 自分から	青陵中学校	1年	小村 真 斗
	その一歩 踏み出した時 強くなる	桜江中学校	2年	遅越 安 寿
	背を向けなくて 地域の問題 考えて	桜江中学校	1年	山根 陽菜子
	ネットでの 悪口直接 言えますか?	江津中学校	3年	佐々木 瑠 香
	ありがとう そう言う君にも ありがとう	江津中学校	2年	南口 大 騎
	優しさで 守れる命 救いたい	江東中学校	3年	小川 優 華
	あいさつは 心をつなぐ 合い言葉	江東中学校	1年	安部 愛 理

【3】作文コンテスト

作文コンテストは、法務省が次代を担う全国の小、中学生の皆さんに日常生活や学校生活の中で体験したことをもとに、犯罪や非行のない地域社会づくりや犯罪や非行などに関して考えたこと、感じたことを作文に書くことを通じて、社明運動に対する理解を深めてもらうことを目的として実施されます。

○江津市、浜田市の小学校9校から13作品、中学校8校から20作品の応募

○この中から小、中学校とも5作品を県審査会へ推薦

○県審査結果（江津市関係分）

[小学校の部]

山陰中央新報社賞

高角小学校6年 勝部 京 「よりよく生きていくために」

[中学校の部]

山陰中央新報社賞

桜江中学校2年 大地本琴音 「伝統芸能で地域を明るく」

島根県更生保護女性連盟会長賞

江津中学校3年 吉岡 京祐 「住みよい社会と見えない協力」

【4】幟旗掲出

“社会を明るくする運動”を一層盛り上げ、市民への周知を図るために市内各所に掲出しました。

○掲出期間 7月1日(金)から7月31日(日)：(社明運動期間中)

- ・江津町 市役所周辺 15本
- ・和木町 国道9号線沿い 30本
- ・桜江町 B & G 体育館前 15本

【5】大型懸垂幕

“社会を明るくする運動”期間中、前年度標語の最優秀作品を市役所庁舎に掲出しました。

・平成28年度標語最優秀作品

「立ち直り 支える力 地域の輪」

江津中学校1年 鳥田 咲さんの作品



【6】汽車通学生への啓発キャンペーン

通学生のほか一般の乗降客や通勤者など200名を越える方へテッシュペーパーを渡し社明運動と非行防止の啓発活動を実施しました。

○実施日 7月1日(金) 午前7時～8時40分

○場 所 J R江津駅

○協 力 江津警察署 江津市更生保護女性会



【7】大型店店頭啓発キャンペーン

○実施日 7月1日(金) 午後4時～6時

○場 所 グリーンモール キヌヤ二宮店
ジュンテンドー江津店

○協 力 江津警察署 江津市更生保護女性会

【8】中学校早朝「おはよう！」キャンペーン

保護司が市内4中学校へ訪問し、登校する中学生全員に笑顔で挨拶しながら社明キャンペーン用品を渡しました。

○実施日 7月13日(水) 午前7時～8時20分

- ・江津中学校 226名
- ・青陵中学校 259名
- ・江東中学校 61名
- ・桜江中学校 62名



【9】ミニ集会の開催

ミニ集会とは、地域のコミュニティ交流センターや学校などに集まって、青少年健全育成のために非行の問題や子育ての問題など、その地域の実情に沿って話し合う数人から十数人規模の文字どおりミニサイズの地域住民集会です。

江津市では江津市更生保護女性会などが中心となり、保護司も参加し駐在所や地域の関係団体や地域の人々に呼びかけて夏休み期間の7月、8月に開催されています。

平成 28 年度の開催状況は下記のとおりです。

日 時	地 区	担当保護司	会 場	出席者
1 7月14日(木)	跡 市	三 瀧 香 順	跡市地域コミュニティ交流センター	15名
2 7月17日(火)	跡 市	三 瀧 香 順	〃	12名
3 7月21日(木)	江津本町	村 川 立 美	江津本町菟街道交流館	6名
4 7月22日(金)	和 木	盆子原 民生	和木地域コミュニティ交流センター	27名
5 7月26日(火)	桜江中校区	藤 田 厚 千 代 延尚子	桜江中学校	21名
6 7月27日(水)	江東中校区	—	江東中学校	14名
7 7月28日(木)	江津中校区	村 川 立 美 豊 田 統 夫	江津中学校	33名
8 7月28日(木)	江津本町	盆子原 民生 永 妻 壽 則 千 代 延 尚 子 富 金 原 晴 江 牛 尾 絹 子 鍛 治 恵 巳	江津本町菟街道交流館	19名
9 7月29日(水)	青陵中校区	三 瀧 香 順 村 上 博 行 富 金 原 晴 江 永 妻 壽 則	青陵中学校	38名
		延べ 18 名	9 会場	185 名

平成 28 年度江津分区表彰保護司

- 法務大臣表彰 山根 英毅
- 中国地方保護司連盟会長表彰 永妻 壽則、盆子原民生、三瀧 香順、村上 博行
- 松江保護観察所長表彰 村川 立美、和原 勝博、豊田 統夫
- 島根県保護司会連合会長表彰 福間 徹雄
- 千代延尚子

平成 29 年度浜田地区保護司会江津分区役員名簿 (H29.4.13 ~ H31.3.31)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
分 区 長	盆子原 民生	役 員	三 上 良 紀
副分区长	藤 田 厚	〃	三 瀧 香 順
事務局長	永 妻 壽 則	〃	村 川 立 美
会 計	村 上 博 行	監 事	和 原 勝 博
役 員	豊 田 統 夫	〃	神 山 哲 夫

《部会構成名簿》

部会名	部 長	副部長	部 会 員
総 務	豊田統夫	和原勝博	永妻壽則 千代延尚子 鍛治恵巳子
研 修	三上良紀	神山哲夫	藤田 厚 桑原英寿 富金原晴江
犯罪予防	三瀧香順	村上博行	山根英毅 藤代雅充 牛尾絹子
協力組織	村川立美	福間徹雄	盆子原民生 福富孝男 門 屋臣

《社会貢献活動担当保護司》

永妻壽則

《「江津更生保護」編集委員》

豊田統夫 神山哲夫 和原勝博 村上博行 永妻壽則

編 集 後 記

広報誌「江津更生保護」特集号発行にあたり、江津市長山下修様にはお忙しいなか玉稿を賜り誠にありがとうございました。

江津分区では第67回「社会を明るくする運動」月間のキャンペーンや青少年健全育成活動に積極的に取り組むこととしておりますので地域の皆様、関係機関の皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

尚、本広報紙は江津市並びに江津市社会福祉協議会から助成を受けて発行しております。